



No.347
2023年 3月24日

江東区労連東

江東区労働組合総連合
〒135-0011 江東区扇橋 1-12-20
江東教育会館内
Tel.03-5606-5285 Fax03-3649-0131



力強くデモ行進する仲間 (23/2/22)

もうとしている。ぜひ反対運動を」と訴えました。新婦人江東支部の加藤支部長は「全国に広がる学校給食の無償化を江東区でも実現しよう。そのために区政の転換を」と述べました。最後に東京福祉バス従業員組合江東支部の金澤さんは「江東区でも公契約条例を実現して、不当なダンピングを許さず、適正な賃金単価を実現させて

区民要求実現江東大運動実行委員会は2月22日、猿江公園で『2・22怒りの江東区民集会』を開催し、16労組・団体から150人が参加して4年ぶりに大島方面にデモ行進を行いました。

続いて来賓として日本共産党江東区議団から正保区議会議員議員が「区民のための区政への転換」を訴えました。また「区民によりそう江東区長を誕生させる会」の芦澤礼子さんが連帯のあいさつをしました。その後3団体より決意表明がありました。江東民商の豊田会長は「岸田政権は物価高の中で消費税減税どころか、インボイス制度を導入して免税業者を廃業に追い込

物価値上げノ！消費税5%に！
大幅賃上げ！憲法9条守れ！
2・22怒りの江東区民集会

大幅賃上げを実現しよう」と訴えました。最後に江東区労働青年部の諸隈智子さんから集会決議案が提案され、全体の拍手で採択、大島3丁目児童遊園まで約1キロの道のりを、手に手にプラカードや提灯を持ち、デモ行進しました。



黒澤さんの話に関心する会場いっぱいの参加者 (23/3/9)

春闘本番 ストのできる春闘を！ 東部地域交流集会

東京地評東部ブロック（江東区労連など東部7区労連で構成）は3月9日、江東区亀戸文

化センターで「23国民春闘勝利東部地域交流集会」を開催、7地域から20労組78人が参加し、会場をいっぱいにうめしました。松井東京地評副議長の進行で、5つの地域の仲間から闘いの報告がありました。足立・健和会労組、台東区労連、JMITU東部地協、地域労組こうとう、JAL争議団です。地域労組こうとうからはストを配置して、シフト削減・賃下げ攻撃を撤回させた経験が昨年できたばかりの組合の分会長が報告しました。集会をしめくくったのは全労連黒澤事務局長による講

演。黒澤さんは「ストライキのできる春闘で23国民春闘に勝利しよう」と区労連に参加する国立病院の仲間が31年ぶりにストを行い、地方のテレビ局で報道されていることや全労連・国民春闘がはじめて3月8日に賃上げの速報をビデオ配信したことなどを報告しました。経済界に呼応して連合がストなし春闘を掲げていることに対して、黒澤さんは「ストを打つことで対等に労使交渉ができる」とストライキの重要性を話しました。講演の途中では「なぜ日本はストをしなくなつたのか」と参加者に呼びかけてグループ討論してもらいました。参加者は「物心ついた時にはストはなかった。イメージがわかない」などと報告。参加型の交流会となりました。

江東区労連からのお知らせ

- 東京地評東部ブロック組織化宣伝行動
 - 日時… 4月 3日(月) 18:00～
 - 場所…JR 錦糸町駅南口
- 江東区労連第11次組織化宣伝行動
 - 日時… 4月25日(火)
 - 場所…東大島(17:30-)、東陽町(7:30-) 辰巳・新木場(8:00-)
- JAL 不当解雇撤回宣伝行動
 - 日時… 4月26日(水) 18:00～
 - 場所…JR 錦糸町駅北口
- 江東区労連『働くルールを学ぶ』
=労働相談員養成講座=
 - 日時… 4月28日(金) 19:00～
 - 会場…江東区文化センター 3F・第1研修室
 - お話…前澤 檀氏
(もと東京労働相談センター室長)
「働くルール」や労働相談にどうこたえるかわかりやすくみんなで学びます。

スト配置でシフト削減跳ね返す！ 地域労組こうとう東洋管財分会の仲間

【地域労組こうとう発】昨年8月に組合（全労連地域労組こうとう東洋管財分会）を結成した仲間は、結成以降断続的に団体交渉を重ねてきました。会社は、これまでの「希望シフト制」を「曜日固定制」に変えたいという主張でした。組合員はダブルワークしているので、「曜日固定制」だと勤務できない日が出て双方が歩み寄る案を模索してきました。昨年秋の第4回団交で会社側が「曜日固定でも勤務変更はありうる」と表明したので、妥結できそうでしたが、第5回団交で「曜日固定のシフトは週4日以下だ」と突然提案してきました。これでは月の労働日が1割～2割減ってしまいます。これまで会社側はシフトの入れ方の変更であって、日数を減らすことはしないと明してきたにもかかわらず突然の提案に抗議しつつ、年明けにも引き続いて交渉を続けました。しかし第6回目の団交でも会社の主張は変わらず、物別れに。ついに2月11日以降に希望したシフトを一方的に削ってきました。雇用されて3年余、希望シフトを一方的に削減したのは初めての事でした。組合は抗議声明を会社に送り3月3日に抗議行動（のちの分会会議では時限ストを配置）して、第7回団交（2月27日）に望みました。会社はその場で、「シフトは削減しない。週5日のシフトで契約更新する」と表明しました。組合は抗議行動やストを中止し、シフトの希望曜日や回数などについて今後会社と協議を続けていくことになりました。



区労連学習会で発言する東洋管財分会の仲間

インボイス制度・税務相談停止命令制度は中止せよ！

3・10重税反対江東区民集会



重税反対江東区民集会が3月10日に江東区総合市民センターで開催されました。この行動には10団体から125人が参加しました。集会では主催者を代表して富樫東京土建江東支部執行委員長が「インボイスを導入して増税した分は防衛費だ。中止してほしい」とあいさつ。来賓として4名があいさつしました。その中で日本共産党のあぜ上三和子都議は「防衛費10兆円は文科省の予算に匹敵する、平和とくららしは一体のものだ。福祉や教育に予算を回せの声を」と激励しました。

基調報告にたった赤羽江東民商事務局長は「今から53年前に10万人の参加で第1回目の行動が行われた。岸田政権は憲法解釈を投げ捨て安保3文書に敵基地攻撃能力明記や軍事費5年間で43兆円もの税金をつぎこ

み、その財源を増税でねん出することを決定している。税制もインボイス制度の導入は中小業者のみならず、アニメーターや声優・俳優など文化・芸能関係者から反対の声があがった。税理士法改悪で税務相談停止命令制度という危険な制度導入をねらっている。大軍拡反対、物価高騰対策を行え、インボイス制度・税務相談停止命令制度中止の声をあげよう」と述べました。続いて生活と健康を守る会、年金者組合、江東区職労の仲間が決意表明して、集会決議を採択、4年ぶりとなる2か所の税務署に向けて集団申告行進を行いました。

トピックス

『変えるリーフ』地域配布行動

江東区労連は2月26日、江東区内で『変えるリーフ』の地域配布行動を行い、5労組20人が参加、UR大島4丁目団地や深川地区などで3650部を配布しました。江東区労連は12000部を配布予定。各単組で地域配布や駅頭宣伝などで活用することになっています。

江東区労連組織化宣伝行動

江東区労連は2月27日、第9次組織化宣伝行動を区内3駅で行い、2労組18人が参加、変えるリーフとティッシュ700部を配布しました。

労働相談の窓から

昨年より相談件数は減少したとはいえ、年度末になるが増える労働相談。雇止めや解雇なども目立つ傾向です。

賃下げ・退職（全労連ホットライン・女性・正規）

昨年9月に正社員として入社。マーケティングの営業職。リモートが多く仕事のやり方を十分に教えてもらえない中で「能力不足」といわれ、退職勧奨された。1月になってから突然降格を通告され、同意なく賃金を10万円以上下げられた。2月末で退職するが、賃下げは納得できない。

〈対応〉東京都労働相談情報センターを通じて会社と交渉中。

降格・退職勧奨（組合員の知人・女性・正規）

21年入社。会社の人事部所属。サービス残業が常態化。在宅業務のために上司の同意のもとにデータを持ち帰ったところ、漏洩に当たる

とされ、一度懲戒処分になりかけた。その後上司の指示があったことが認められ、嚴重注意で終わったが、今年に入ってからほとんど仕事を外されてしまった。2月下旬の面接で「ここで働いていくのは難しい」と退職勧奨。サービス残業もあり、昨年に労基署に臨検に入られた。その際に犯人捜しがあり数名が退職している。

就労ビザの更新手続き妨害（新木場駅での区労連チラシ・男性・派遣）

バンングラデシユ人。印刷会社への派遣で2年半ちかく働いている。就労ビザの更新期が近づいていたが、派遣会社から派遣先を変更しないとビザ更新の申請は難しいと言われたとのこと。派遣先には異動の事は内密にと言われた。ビザはほしいが派遣先は変わりがくなくない。

〈対応〉派遣先の変更を同意することと就労ビザ更新を条件にするとはひどいと。面会することになったが、その後、本人から連絡があり、現在の職場のままビザの更新ができるようになったとのこと。

★新木場駅付近は大きな印刷工場や研修施設もあり、多くの労働者が集う。対策強化が必要です。